

あなうさピーターのはなし

THE TALE OF PETER RABBIT

ベアトリクス・ポッター Beatrix Potter
おおくぼゆう「やへ」





むかしむかし あるところに 4 ひきの こう
さが おりました。なまえは それぞれ

フロプシー、

モプシー、

カトンテル、

ピーターです。

4 ひきは おかあさんと いっしょに とつて
もおきな モミのきの したにある あなのな
かに すんでいました。



あるひの あさ、 あなうさママが いいまし
た。

「さあ おまえたち、 のはらのなかや こみちの
さきで あそんでらっしゃい。 でも、 マグレ
ガーおじさんの おにわには いっちやダメよ。
むかし おとうさんが そこで ひよんなことか
ら マグレガーおばさんに つかまって パイに
されただから。」



「いってらっしゃい、きをつけるのよ。お
かあさん、るすにしてるから。」



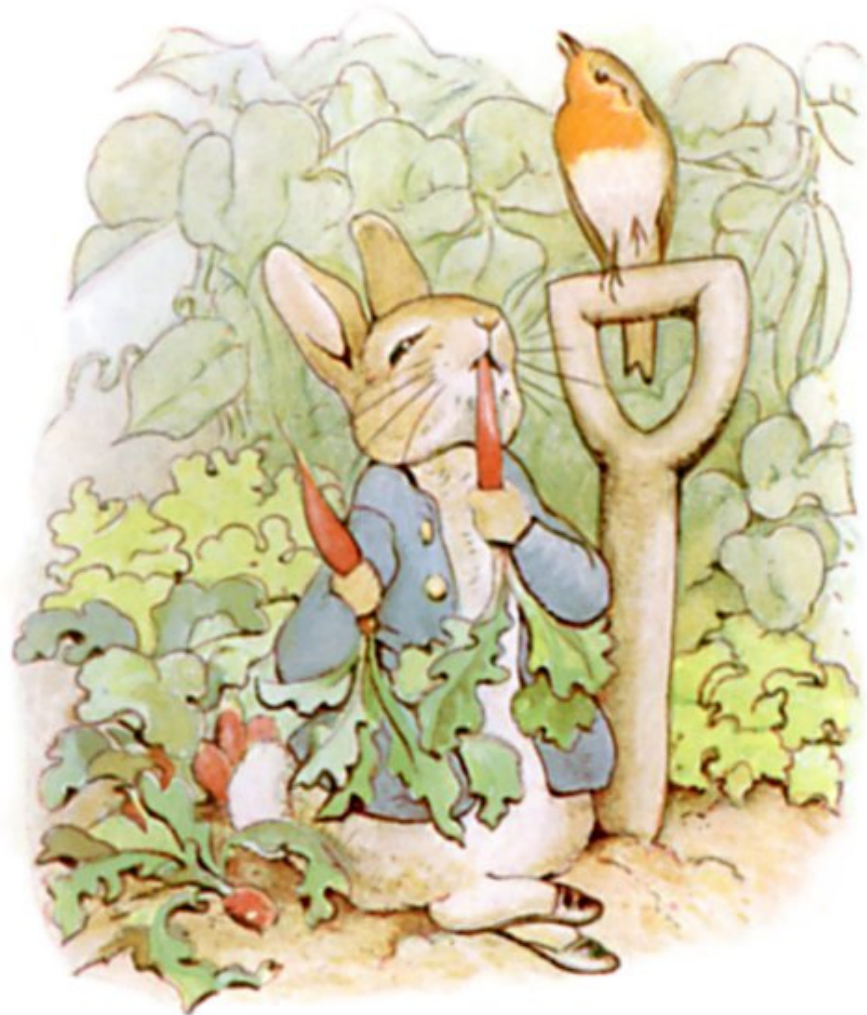
それから あなうさママは かごと かさを
てにもって、 もりの むこうの パンやさんへ
むかいました。 かったのは 1 きの くろパ
ンと ぶどうパンを 5 つです。



フロプシーと モプシーと カトントレルは
とっても いいこでしたので、 こみちを
く だって キイチゴつみに でかけました。



けれども ピーターは ひどく やんちゃでし
たので、 そのまま マグレガーおじさんの お
にわに いちもくさん、 いりぐちの さくの
したを くぐりぬけたのです！



すぐさま レタスと インゲンを かじって
おまけに ハツカダイコンまで。



すると どうも きぶんが わるくなったので
おくすりの パセリを さがすことに しました。



ところが キュウリの なえばこを まわった
ところで でくわしたのが、 なんと マグレ
ガーおじさん！



マグレガーおじさんは よつんばいで キヤベ
ツのなえを うえていたのですが、 とびあがつ
て ピーターを おいかけます。 くわを ふり
ふり さけぶのです。「まてえ、 ぬすつと！」



ピーターは もう びっくりして ふるえあ
がって にわじゅうを かけまわりました。 そ
れというの も いりぐちが どこにあつたのか
わからなくなったのです。

しかも キヤベツばたけで くつを かたつぽ
ジャガイモばたけで もうかたつぽを なくし
てしまいました。



くつも ないので よつあしで はしると ぐ
んぐん はやくなって、 うまくいけば にげら
れたと おもうのですが、 うんわるく スグリ
の あみに つつこんでしまい、 うわぎの お
おきな ボタンが ひっかかってしまったのです。
ちなみに あおの うわぎで しんちゅうの
ボタンつき おろしたての ものでした。



ぼくは もう しぬんだな、 ピーターは お
おつぶの なみだを ながしました。 でも そ
のなきごえが たまたま やさしい スズメたち
にも きこえて、 そして あわてて そばに
とんできて あきらめないでと いうのです。



マグレガーおじさんが やってきて もってき
た ふるいを ピーターの うえから かぶせよ
うと しましたが、 ピーターは すんでのとこ
ろで かわして うわぎを のこしたまま にげ
だしました。



そして ものおきごやに かけこんで じょう
ろのなかに とびこみました。 とってもいい
かくればだと おもったのに みずが たくさん
はいつているなんて。



マグレガーおじさんには　まるわかりでした。
ピーターは　ぜったい　ものおきごやの　どこか
にいる。　もしかすると　うえきばちの　なか
かもしれない。　やがて　そろりと　もちあげて
ひとつずつ　なかを　みるのです。
まさに　そのとき　ピーターが　くしやみを―
―「くしゅん！」　マグレガーおじさんが　たちま
ち　ちかづきます。



あしで ふみつけられそうに なりましたが、
ピーターは まどの そとへと とびだして つ
いでに うえきを 3つ たおしました。 まど
が ちいさすぎたので、 マグレガーおじさんも
ピーターを おいかけののを あきらめて のら
しごとへ もどることに しました。



ピーターは ほっとして こしを おちつけま
す。 いきも きれぎれ、 からだも ぶるぶる、
どっちへいったら いいのか ちつとも わかり
ません。 しかも じょうろのなかに いたので
もう ずぶぬれです。

しばらくして うろちよろ しはじめましたが、
とぼとぼ——とぼとぼ——ゆつくりと あるい
て きよろきよろ。



かべに ドアを みつけましたが、 かぎが し
まっでいて したを くぐりぬけようにも ぷっ
くりした こうさぎの とおる すきまは あり
ません。

おかあさんねずみが いしの とぐちを は
いたり でしたりして きの中かで まっている
かぞくに おまめを はこんでいます。 ピー
ターは そのねずみに いりぐちへの いきかた
を ききましたが、 くちに おおきな おまめ
を くわえていましたので ねずみは なにも
へんじが できません。 ただ くびを ふるだ
けなので、 ピーターは なみだが でてきまし
た。



それから おにわを つつきつて かえりみちを
さがそうと しましたが、 よけいに まよつて
しまいました。 やがて マグレガーおじさんが
みずくみをする ためいけのところへ たどりつ
きます。 しろい ねこが きんぎよを じつと
にらんでいて ぴくりとも うごきませんが と
きたま しっぱの さきが いきているみたいに
くねくねと していました。 ピーターは そつ
としておくのが いちばんだと おもいました。
いとこの ばにばにベンジャミンくんから ねこ
のことは きいていたのです。



ものおきごやに もどろうとすると いきなり
すぐそばから くわの おとが きこえてきまし
た。 さつくり、 さくさく、 さつくり。 ピー
ターは しげみのしたを あたふたと はしりま
わります。 けれども なんとということも ない
ので すぐに でていって ておしぐるまの う
えへ のぼり ようすを うかがってみました。
まず みえたのが タマネギばたけを たがやす
マグレガーおじさん、 ピーターには せなかを
むけていて なんと そのむこうに いりぐちが
あるのです！



ピーターは おとも たてずに ておしぐるま
を おりて ぜんそくりよくで はしりだしまし
た。 クロスグリの しげみのうら まっすぐ
みちを すすみまします。 かどのところで マグレ
ガーおじさんに みつかりましたが ピーターは
かまいません。 いりぐちのしたに すべりこん
で とうとう にわのそと、 もりに はいれば
あんぜんです。



マグレガーおじさんは ちいさな うわぎと
くつを ぼうに ひっかけ からすよけの かか
しに しました。 ピーターは そのままずっと
はしりっぱなしで ふりかえることもなく おお
きな モミのきの おうちまで かえりました。



もう　くたくたなので　うさぎあなの　ふかふ
かした　やわらかい　つちの　じめんに　ねっこ
ろがると　まぶたが　すぐに　おちます。　おか
あさんは　おりようりの　さいちゅうで　てが
はなせませんでした、　みにつけていたものは
どうしたのかしらと　くびを　かしげました。
つい　このあいだも　うわぎと　くつを　なくし
たっていうのに。



なんといつたら いいのか、 ピーターは そ
のひの ばんは ずっと ぐあいが よくありま
せんでした。 おかあさんは ベッドに ねかし
つけ カモミールの おちやを つくってあげま
した。 ピーターへの おくすりと いうわけで
す！

「ねるまえに おおさじいっぱい のむこと。」



かたや フロプシーと モプシーと カトンテ
ルは ばんごはんに パンと ぎゅうにゅうと
キイチゴを たべました。

(おしまい)

翻訳の底本：Beatrix Potter ”The Tale of Peter Rabbit”（1902）

上記の翻訳底本は、著作権が失効しています。

翻訳者：大久保ゆう

※この翻訳は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」

（<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>）によって公開されています。

上記のライセンスに従って、訳者に断りなく自由に利用・複製・再配布することができます。

※翻訳者のホームページは、<http://www.alz.jp/221b/> にあります。作品・翻訳の最新情報やお問い合わせは青空文庫ではなく、こちらをお願いします。

2009 年 11 月 12 日翻訳

2010 年 2 月 10 日修正

2010 年 3 月 14 日微修正

2010 年 3 月 14 日ファイル作成

青空文庫提供ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）へ提供されています。

